



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和7年4月18日
第2号

早いもので、4月も後半に入りました。今日18日（金）は学習参観と学校説明会、さらにPTA 総会と学級懇談会へのご出席ありがとうございます。

学校説明の資料には今年度の教職員スタッフの一覧表を載せました。嬉しいことに、昨年度1年間さまざまな学年の授業を担当していただいた城石律子先生が、今年度も「新採サポート」という専科指導教員として引き続き本校に勤務されることになりました。勤務開始の14日（月）は早速5年教室で家庭科の授業を担当しておられました。また学校司書の村椿正美先生も本校3年目に突入です。入学して間もない1年生に図書室の使い方を優しく教えてくださっています。

学校には常勤の教職員のほか、短時間勤務や曜日を決めての勤務の職員、子供に直接関わる仕事をする職員だけでなく、職員室での事務的な仕事を主とする職員もいます。それぞれの立場から「チーム村椿」として力を合わせ、よりよい学校、よりよい教育を目指していきます。



意志の力より「習慣の力」

★入学式で話した3つのこと

先週9日（水）の入学式の式辞では、1年生に「村椿小学校の子供たちが目指していること」を、3つ話しました。①「助け合う子」になるために、毎日元気に挨拶をすること ②「よく考える子」になるために、授業時間を守り、先生の話をよく聞くこと。本もたくさん読むこと ③「元気でやりぬく子」になるために、早寝・早起き・朝ご飯を心がけ、運動や遊びで身体を鍛えること の3つです。「これは上級生のお兄さん・お姉さんもみんな頑張っていることですよ」と前置きして2～6年生にも注意を促し、また1年生の保護者の皆さんにも「是非聞いてください！」という思いで話しました。①～③の3つは、どれも小学生としてのよい習慣として、早いうちに身に付けてほしいものです。

★当たり前のように苦もなくてできる、やらないと気持ち悪い、それが「習慣」

たとえば「朝起きたら顔を洗う」「食事の後に（寝る前に）歯を磨く」といったことは「なぜ？」と考えるまでもなく当たり前身に付いているルーティン、つまり「習慣」です。小さい頃から繰り返し繰り返し行うことで、特に苦もなくてできる行動パターンになっていることでしょう。「挨拶はいつも自分からする」「夜は〇時に就寝する」「朝は〇時に起きる」「朝ご飯を毎日食べる」等も、そうした「当たり前」になればいいですね。また、家庭での学習習慣も、たとえば「夕食の準備をしている家族のそばで30分間する（小さい子供は、自分の部屋よりリビングやダイニングのテーブルで学習する方がよいそうですから…）」など、1年生のうちから毎日のパターンを繰り返すこと、いつか習慣になることでしょう。当たりの習慣になれば、やらないと落ち着かない気持ちにさえなります（歯磨きだって、サボるとなんだか気持ち悪いですものね）。

更生女性部「朝の挨拶運動」の一コマ



★無理なく習慣化するための環境づくり、仕組みづくりは大人の役目です

子供は小さいときほど、「やらなくては！」という意志の力よりも「いつの間にか身に付いていた」という習慣の力がものを言います。その習慣化のカギを握るのは大人です。子供がよいことを無理なく習慣にできるように環境づくり、仕組みづくりを工夫する必要があると思います。例えば、「夕方6時半～8時半は家族ぐるみでスマホ・タブレットの充電タイムとし、その間は家族の団らん（食事も含め）や一人一人の勉強や読書に取り組む」というのはどうでしょう。また「自分で起きられない子には専用の目覚まし時計を用意する」「朝、準備の時間がなくても簡単に食べられるもの（パンやバナナ、野菜ジュースなど）を常備しておく」など、いろいろ工夫できそうです。それぞれのご家庭の事情、お子さんの実態に合わせて考え、実行してみてもいいでしょう。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（ ）

「わかば」の4月、「なかよく」いっしょに春見つけ

昨年度末に6年生が卒業し、「なかよし級」は新4年生が1名のみとなりました。もともと1名だった「わかば級」も新4年生が1名。そのため、今年度は2つの学級が4年生同士、一緒に学習をする時間も多くなりました。担任の清水先生と渡邊先生がよく連携をとりながら、楽しく学びがいのある学習となるように毎時間工夫しています。

17日(木)は、タブレットを手に「春見つけ」の時間でした。桜やチューリップを、構図を考えながら撮影したり、じっと足下の草花に見入ったりしていたそうです。記念写真も撮ったとか。楽しそうですね。



シリーズ「教室におじゃまします」4月14日(月)2年図画工作の巻

2年生の図工は、教務主任の澤田先生と担任の廣瀬先生が二人で担当しています。この日は「すきなことなあに？」1年生の今ごろは自分の好きな「物」を描いていた子供たち。2年生になると、自分自身を主人公にした「様子」

描くことがポイントとなります。自分が好きなことを思い浮かべながら場面を考え、形や色を工夫して描きます。クレヨン・クレパスの使い方に慣れ、工夫するという技能的な学習もあります。黒板には子供たちが考えを出し合った事柄が集まっていたいました。各自がそこからテーマを決め、好きな色の台紙を選び、思うように描き始めます。

澤田先生が「ねえ、みんなの顔の周りに黒い線ってある？」と聞きます。「ない！」と子供たちが答えると、「そうだよね、だから顔を描くときは黒い線を書かずにこうやって描くよ」と、見本の紙にまあるくパールオレンジ(今は「はだいろ」とは言いません)で顔の面を描き、そこに目や髪の毛を描き足していきました。イラストのような輪郭線は描かない、ということ、子供に分かりやすく教えていました。廣瀬先生も個々の様子を見て回り、一人一人が自信をもって描き進められるように助言をしていました。「おおむかしのしろをみた」「じぶんがだいすきなアイスを食べる」など、子供のつけるタイトルも面白く、一人一人の世界が感じられる作品が少しずつ仕上がっていきました。18日の学習参観の時に教室や廊下の壁に掲示されていることと思います。



<おまけのひとりごと>今週、というか年度初めのこの時期は校長の出張がとにかく多いのです。15日(火)、16日(水)は丸々2日間学校を空けていました。子供の顔が見られず大好きな給食も食べられず、トホホです。しかし、やはり出張に行くと、それなりに学びがあるものです。先日は県教委のある方から素敵な言葉を教えていただきました。「学校は、だれもが、何かを、必ず楽しめる場所であってほしい」という言葉です。なるほど!とメモをとりました。そうですね。だれだって、毎日何か楽しみなことを一つ以上は胸に抱いて、元気に(それなりに元気に)登校してほしいな、と思っています。みんなが笑顔で輝ける学校に…!

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()